

報道関係各位

ニュースリリース
2019年12月11日
株式会社インテージヘルスケア
株式会社協和企画

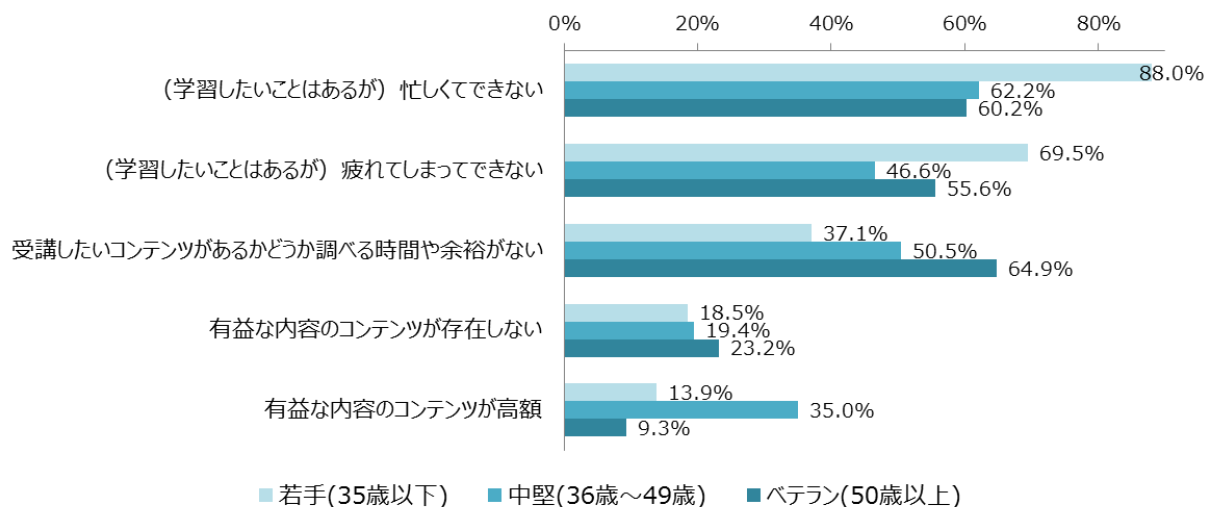
医師の生涯学習の実態を簡易 Web 調査「TenQuick」で調査
医師の生涯学習「診療スキルへの不安がきっかけ」が 71.4%
リアルか Web か、どんな生涯学習を行っている？

株式会社インテージヘルスケア(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:仁司与志矢)と、株式会社協和企画(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:山田淳史)は、全国の医師を対象に、「医師の生涯学習」について簡易 Web 調査(TenQuick)を行いました。

調査結果から、生涯学習を行う動機や、行っている生涯学習の内容が明らかになりました。

1. 98.1%の医師が必要性を認識している生涯学習。実施している医師は 73.7%、実施していない医師の理由は何？

生涯学習を実施していない理由

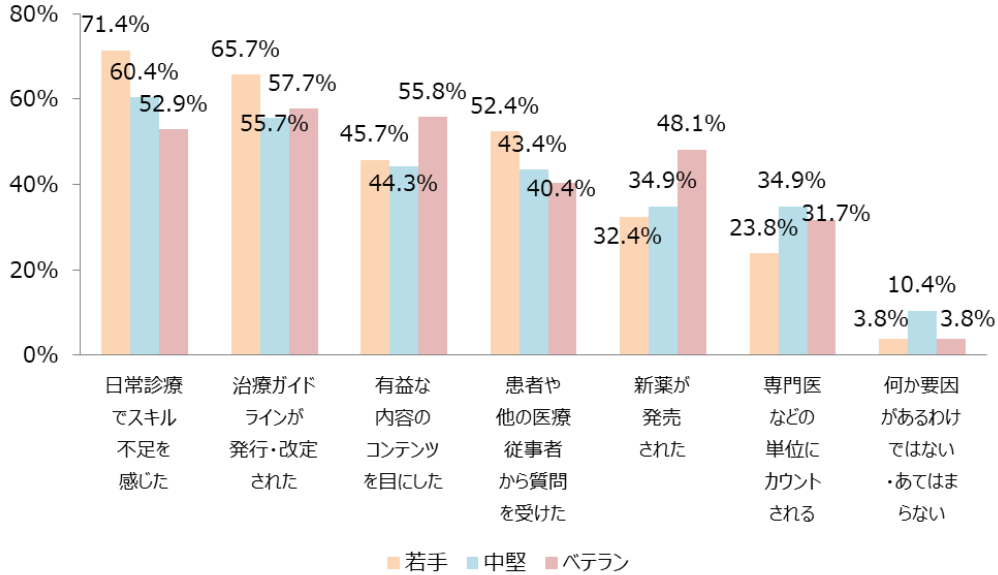


厚生労働省が発行する「医師臨床研修指導ガイドライン(2020 年度版)」では、医師に求められる具体的な資質・能力のひとつとして、「生涯にわたって共に学ぶ姿勢」が挙げられています。医師の生涯学習の必要性については医師自身も強く認識しており、98.1%が「必要性が高い」と回答しています。一方で、「生涯学習を実施している」と回答した医師は 73.7%に留まりました。

生涯学習を実施していない理由としては、35 歳以下の医師では「忙しくてできない」が 88%、「疲れてしまっていてできない」が 69.5%と、多忙を極める日常業務で生涯学習に充てる余裕がない様子が見えられます。また、50 歳以上の医師の 64.9%が「受講したいコンテンツがあるかどうか調べる余裕がない」としており、年齢が高くなるほどそもそもどんな学習コンテンツがあるのか、探すこと自体にハードルがあると考えられます。

2. 日常診療でスキル不足を感じる事が生涯学習のきっかけとなる医師が多く、eラーニングなどのWebよりもリアルな勉強会などの生涯学習の実施が多数を占める

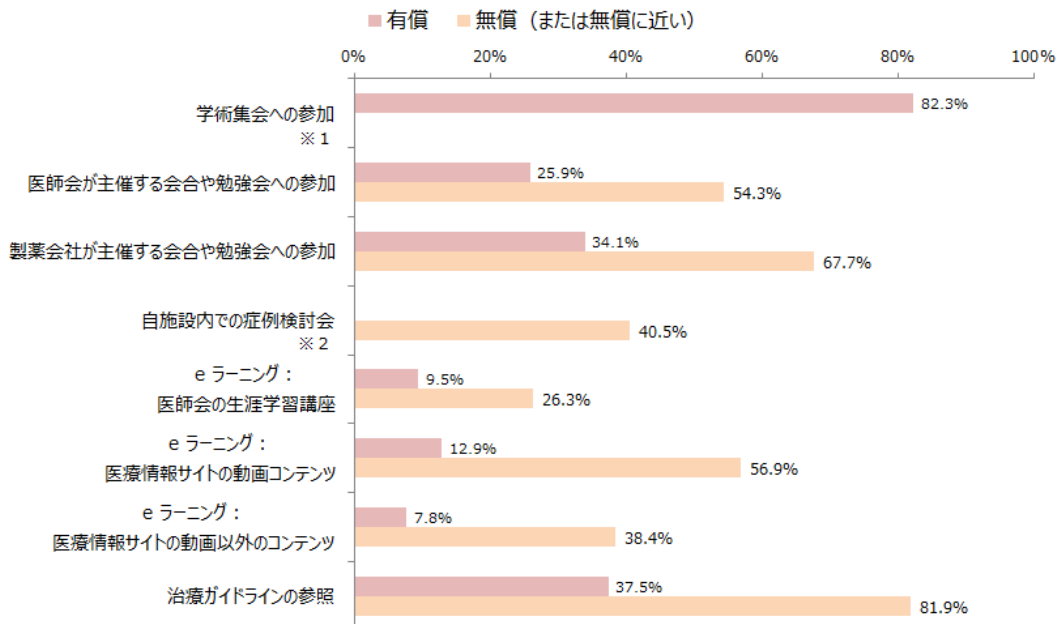
生涯学習に前向きになる要因(1位～3位合算)



実際に医師は、どのような時に生涯学習の必要性を感じ、どのような生涯学習を実施しているのでしょうか。

生涯学習のきっかけは「日常診療でスキル不足を感じた」が最も多く、次いで、「治療ガイドラインが発行・改定された」となっています。経験が浅い若手の医師ほど日常診療でのスキル不足を感じる事が多く、時間的な余裕がない中で生涯学習に充てる時間を捻出している実態が垣間見えます。

生涯学習の実施内容



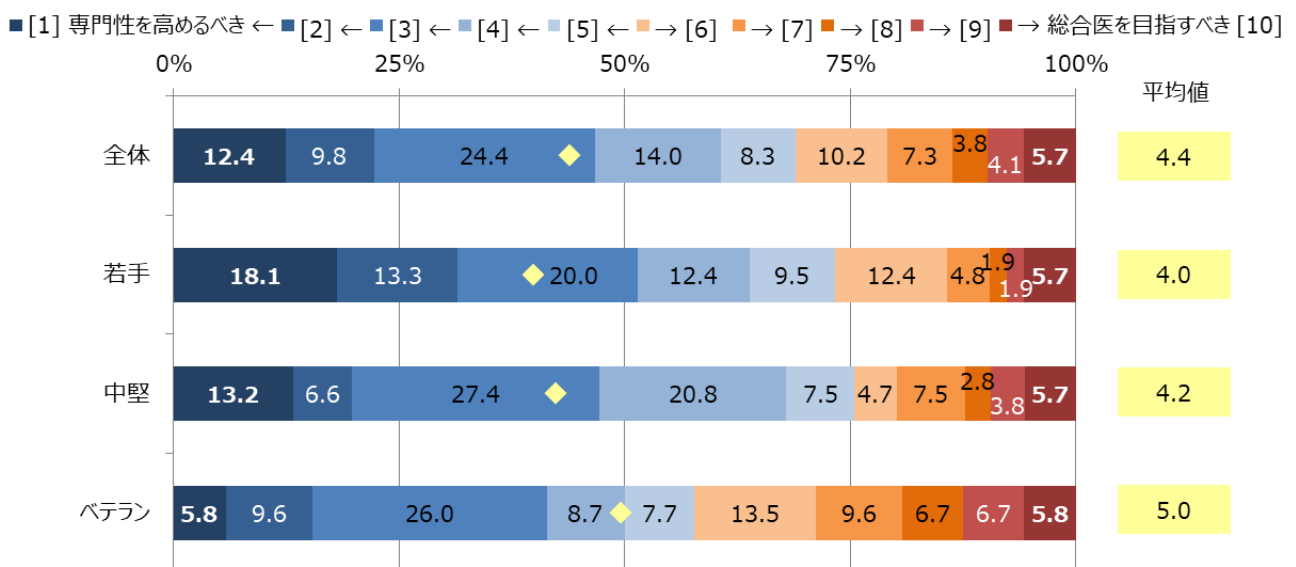
※1 無償 (または無償に近い) はなし
※2 有償はなし

実施している生涯学習の内容で最も多かったのは、有償では「学術集会への参加」で 82.3%、無償（または無償に近い）では「治験ガイドラインの参照」で 81.9%となりました。

リアルな「勉強会」などは、有償であっても積極的に実施している割合が高い一方で、有償の e ラーニングの活用は進んでいないことが分かります。多忙を極める医師にとって効率的に生涯学習を行うことができる e ラーニングは、さらなる活用の余地があるのかもしれません。

3. 医師の目指す方向性に応じた生涯学習コンテンツとは？

生涯学習の方向性



生涯学習の方向性について、「専門性を高める」と「総合医を目指す」、どちらの方向性にウェイトを置いた生涯学習を行うか、年代別に確認しました。その結果、いずれの年代でも「専門性を高める」と回答した割合が高くなっていますが、ベテラン医師は若手・中堅に比べると「総合医を目指す」割合が高い傾向がみられました。

忙しい医師には、生涯学習のコンテンツをより効果的に選択できる環境が重要であることが分かります。例えば、比較的経験の浅い医師には、より専門性を高めることができる内容の勉強会に加えて e ラーニングの活用を促進することで、効率的に日常診療におけるスキルアップが図れるかもしれません。ベテラン医師には、専門分野を強化することに加え、総合的な視点も含めた生涯学習コンテンツを、より分かりやすく、調べやすい形で示していくことが期待されているのかもしれません。

◆調査概要

調査方法	簡易 Web 調査 (TenQuick)
調査地域	全国
調査対象	医師
有効回答数	315 サンプル 若手 (35 歳以下) : 105 サンプル 中堅 (36 歳~49 歳) : 106 サンプル ベテラン (50 歳以上) : 104 サンプル
調査実施期間	2019 年 11 月 21 日 (木) ~ 2019 年 11 月 25 日 (月)
調査主体	株式会社インテージヘルスケア Quick Survey 室

【株式会社インテージヘルスケア】 <https://www.intage-healthcare.co.jp/>

株式会社インテージヘルスケアは、ヘルスケア領域のマーケティングリサーチおよび医薬品開発・製造販売後調査・安全性業務支援をコアビジネスと位置付けています。インテージグループのヘルスケア領域を担う各社※と一体となり、ソリューションを提供。それにより、ヘルスケア領域のあらゆる課題に対して、「医療消費者」起点のデータの価値化による、最適な意思決定をサポートしていきます。

インテージヘルスケアは 2019 年 4 月、株式会社アスクレップと株式会社アンテリオが経営統合し、スタートしました。

※ 株式会社協和企画、株式会社医療情報総合研究所、株式会社プラメド、Plamed Korea Co., Ltd.

【株式会社協和企画】 <https://www.kk-kyowa.co.jp/>

協和企画は、信頼と実績を誇る国内最大手のヘルスケア・コミュニケーション・エージェンシーです。医療・医学に特化した広告会社の先駆者として、創業以来、長年にわたって育んできた医療関係者との連携や、様々な業務実績を基に、学術知識に裏付けられたマーケティング戦略の提案・エデュケーションのサポートをしています。各種学会・団体から製薬企業まで、お客様の抱えているコミュニケーション活動の課題を真摯に受け止め、協和企画のリソースを最大限に活かしながら、全方位的な視点で解決を図れる提案を、これからも続けていきます。

【報道関係のお問い合わせ先】
■株式会社インテージヘルスケア

経営企画部 企画・広報グループ 川畑

TEL: 03-5294-8393(代) E-mail: pr-ihc@intage.com

■株式会社協和企画

経営企画本部 コーポレート部 千葉

03-7979-1400(代) E-mail: info@kk-kyowa.co.jp

【本調査に関するお問い合わせ先】
■株式会社インテージヘルスケア

Quick Survey 室

TEL: 03-5294-8393(代) E-mail: ant-tenquick@intage.com